



第 2 回須賀川市立学校長会議より

6 月 3 0 日（月）に第 2 回須賀川市立学校長会議が行われました。教育長から学期末にあたり、「子どもたち、先生方が充実感を感じられる学期末となるように」とあり、その他市教育委員会重点事項推進についてや不祥事根絶、働き方改革等についての話がありました。

また、須賀川市教育委員会服務倫理対策会議では、3～4 人のグループになって自校の教職員から不祥事を起こさないための視点について協議を行いました。発表する校長先生の話に頷いたり、メモを取ったりする姿があり、あっという間に時間が過ぎていきました。この学びを各学校で共有し、須賀川市の学校から不祥事を根絶させていきましょう。



主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、4 月 2 4 日（木）の第三小学校校内授業研究会をスタートに、各学校での授業改善についての研修が行われています。授業改善に向けて子どもの姿から学ぶ事後研修会も、研修主任の先生を中心に充実したものになっていることと思います。

また、7 月 2 日（水）の西袋第一小学校より、須賀川市教育委員会指導訪問もスタートしています。1 学期は 4 校を訪問しましたが、子どもたちが友だちと関わりながら、笑顔で学習をしている姿や追究する姿、教師の必要最小限の指示、思考の時間が十分に確保できる授業の組み立て、たくさんの資料の準備、そして、先生方が授業を楽しんでいる姿などがありました。子どもたちの学びを支える先生方の、授業に向き合うすばらしい姿勢がたくさん見られました。「これで大丈夫」と、授業改善の歩みを止めることなく、子どもたちが「友だちと学ぶことの楽しさ」をたくさん感じられる授業を心がけていきたいものです。



授業は全ての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の場

教科の指導と生徒指導の一体化（生徒指導提要 P46～P48 より抜粋）

授業は全ての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の場となります。教科の指導と生徒指導を一体化させた授業づくりは、生徒指導の実践上の視点である、自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成を意識した実践に他なりません。教員が学習指導と生徒指導の専門性を合わせもつという日本型学校教育の強みを活かした授業づくりが、児童生徒の発達を支えます。

- (1) 自己存在感の感受を促進する授業づくり
- (2) 共感的な人間関係を育成する授業
- (3) 自己決定の場を提供する授業づくり
- (4) 安全・安心な「居場所づくり」に配慮した授業

(1)～(4)の詳細については、生徒指導提要（令和4年12月）P46～P48にありますので、ご覧ください。スマホやタブレットでも見ることができます。知っておくことで授業の幅が広がるのではないかと思います。

須賀川の風物詩 きうり天王祭

毎年7月14日に、きうり天王祭の「宵祭り」が行われます。270年以上の歴史のある祭りで、須賀川の風物詩となっています。御飯屋にきゅうりを2本奉納し、護符として1本受け取ることができ、このきゅうりを食べると1年間病気にかからないとされています。たくさんの方がきゅうりを持って御飯屋に向かっていました。

時折、雨が降ってしまいましたが、南町の交差点から松明通りまで立ち並ぶ数々の露店に、夢中になってお店巡りを楽しむ子どもたちの姿もみられました。



1学期72日間、お疲れさまでした。校長会で教育長から「子どもたち、先生方が充実感を感じられる学期末となるように」との話がありましたが、いかがだったでしょうか。この4か月で、子どもたちができるようになったこと、がんばったことがたくさんあったことと思います。これも先生方が子どもたち一人一人に寄り添い、励ましてくださったおかげです。保護者も子どもの成長に目を細めていることでしょう。本当にお疲れさまでした。

ぜひ夏休みは、2学期に向けて心身ともにリフレッシュしてください。早速、23日（水）より、教育研修センターの研修講座が始まりますが、どうぞ気持ちを楽しみにご参加ください。参加される先生方、どうぞよろしくお願いします。来月号は、研修の様子をお伝えしていきたいと考えています。